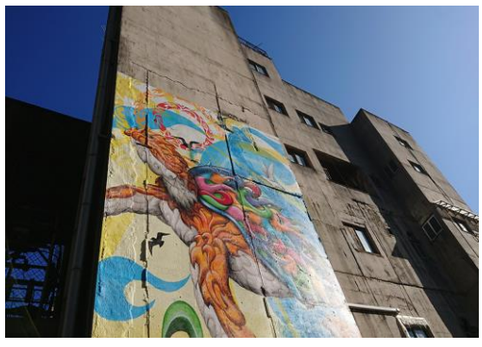


JCI Junior Chamber International Gifu
公益社団法人 岐阜青年会議所

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

公益社団法人岐阜青年会議所は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

２０２０年度まちづくり事業の狙い

現状

市民で構成する団体には様々な制約がある中で、多くの市民を巻き込む活動ができていない。

目的

それぞれの方向へ進んでいる企業と様々な団体を同じ方向へと導くことで、市民の誰もが関わりのあるまちの地域特性を用いて、主体的にまちの未来を描き、行動できる場を創出すること。

（地域特性とは、地域のもつ商業動向、人口動向、中心市街地の動向、経済、生活、道路・交通、地理・風土などの特性を示す。）

解決の仕組み

企業、コミュニティ、各種団体それぞれの目標をＳＤＧｓのゴールナンバーで繋ぐ。

手法

市民や様々な団体と共に、地域特性、産業、ひとの和が融合するＷＥＢ博覧会を開催する。
各課題解決案から社会実験としてデモンストレーションを企画し、その結果をまとめたホームページを作成し公開する。

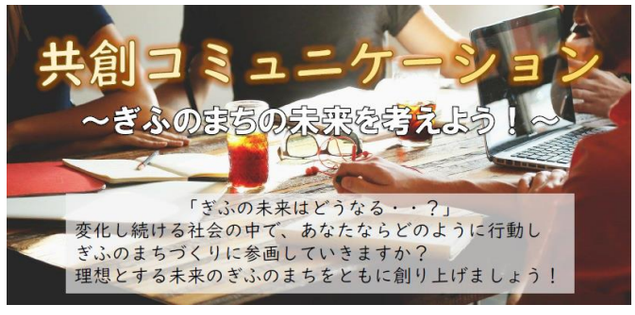
事業経緯

事業経緯１：課題解決案抽出アンケートの実施

共創コミュニケーションアンケート実施

期間：２０２０年３月２５日～４月１０日

共創による未来のまちづくりのアイデアの創出
企業、ＮＰＯ法人、まちづくり団体など各種団体、市民、行政にアンケートを行いました。



実施内容①
市民、企業、各種団体それぞれが抱える課題の抽出
自身の企業活動や団体活動に対する将来対面するであろう課題を抽出し、６ヶにまとめました。

６ヶの課題
1. 人手不足から来る技術力の持続と雇用確保（他県への人材流出なども含む）
2. 技術進歩の対応または、新技術の普及（ＡＩといった新技術による業務環境の変化、新技術普及に対する支援なども含む）
3. 地域社会における人間関係の構築（各団体活動の活動援助、世代間や外国籍の方とのコミュニケーションなども含む）
4. 子どもの明るい未来のための教育方法（子どもに地元の愛着心をもたせることも含む）
5. 子育て支援
6. 災害時の対応方法（避難場所の確保なども含む）

実施内容②
実施内容①で抽出された結果に対して他の立場の人ができる課題解決案の選出
他の立場の人の課題に対し、自身の企業活動や団体活動で解決できる案を選出しました。

【設問①】６ヶの課題の内、あなたの企業活動や団体活動で解決できそうな課題を選択してください。
【設問②】選択して頂いた課題に対して、あなたの企業や団体での活動において、解決できそうなアイデア・仕組みをできる限り具体的に記載してください。

【結果】回答数総計４２９案から委員会内で３０案を選出しました。

事業経緯２：ＷＥＢ博覧会への企画参加者調査・募集（期間：２０２０年４月～９月）

Ｗｅｂ上にて開催する博覧会への企画参加者募集に際してヒアリングシートを用いて企業、各種団体それぞれの目標や自身の活動から解決できる案のヒアリングを行いました。

企業へのヒアリング内容

・ご自身の企業活動において将来対面するであろう課題
　□働き手・担い手不足による産業の衰退化
　□中国など新興国の競争力の激化
　□人材の質が低下していることによる競争力の低下
　□人口減少による人手不足
　□環境規制への対応
　□技術進歩の対応または、新技術の普及
　□その他（具体的に）
・上記の課題はどのＳＤＧｓゴールナンバーに関連するのか。
・企業としてどういう取り組みをしていきたいか。（しているか。）　また、どういうことができると思うか。
・協力していきたいと考えるＮＰＯや各種団体

ＮＰＯ、各種団体へのヒアリング内容

・ご自身の活動において将来対面するであろう課題
　□地域社会における人間関係の希薄化
　□貧困格差の拡大
　□いじめの増加
　□子どもの明るい未来のための教育方法
　□歴史的建造物の将来における活用方法
　□災害時の対応方法
　□子育て支援
　□情報通信技術の更なる進展
　□その他（具体的に）
・上記の課題はどのＳＤＧｓゴールナンバーに関連するのか。
・ＮＰＯとしてどういう取り組みをしていきたいか。（しているか。）また、どういうことができると思うか。
・協力していきたいと考える企業

それぞれの目標から課題解決できる共通の目標とＳＤＧｓのゴールナンバーを導き出しました。

ＷＥＢ博覧会コンテンツの企画

共創コミュニケーションアンケートによる３０案を参考にして、企画参加者と希望溢れるまち共創委員会とで協議し具体的な課題解決案の７個をコンテンツとしました。

事業経緯３：ＷＥＢ博覧会の実施（検証期間：２０２０年１０月３１日～２０２０年１１月３０日）

まちのＷＥＢ博　岐阜２０２０

https://expo2020.gifujc.or.jp
【Ｗｅｂ公開日程】２０２０年１０月３１日～２０２１年１２月３１日

コンテンツ詳細①

災害支援型キッチンカー展示・テイクアウト販売

企画参加者募集（それぞれの目標の調査）

【飲食業】
災害時でも企業活動を止めないようにしたい。

✖

【東海移動販売車組合】
キッチンカーの普及促進とキッチンカーの活用を通してコミュニティの形成をしたい。

共通する目標

岐阜市、岐阜市近郊、自治会などへキッチンカーの利便性をＰＲし、より災害時に利用できるものにする必要がある。

共創コミュニケーションアンケート結果から採用した課題解決案

岐阜市や岐阜市近郊でキッチンカーの出店情報を提供できるサイトを作ることで、飲食業のケータリングサービスを促進する。

課題解決案

災害支援としてのキッチンカー展示を行う。展示により実際の活用法を見て頂くことでキッチンカーを利用したい。ユーザーの拡大に繋げると共に、コロナ禍や災害時の支援ネットワークにも繋げる。

https://youtu.be/yJmQg8eW8MM

閲覧者アンケートより

・災害時の有効利用として自身の地域でも考えたい
・免許返納されたご高齢の方にとってもキッチンカーでの販売を考えるのは良いと思う

コンテンツのまとめ

災害時やコロナ禍において、飲食業の方々にとっても道具や移動手段を兼ね備えたキッチンカーを活用することは支援のためのひとつの手段として考えることができます。
今回の企画を通じて、普段から地域との連携を図っておくことで、災害時でも飲食業の方がキッチンカーを活用し、飲食を提供できる可能性を感じることができました。

コンテンツ詳細②

公共建造物を利用した地域ＰＲプロジェクションマッピングイメージ映像作成

企画参加者募集（それぞれの目標の調査）

【岐阜市】
ぎふのまちの人々が、岐阜市に対する誇りをもって活動していく。

✖

【株式会社デンキトンボ】
地域企業や団体の活動ＰＲに技術を活かしたい。

共通する目標

ぎふのまちの市民にシビックプライドをもってもらうことや、岐阜市外の方へぎふの誇りを発信する必要がある。
地域企業や団体の活動ＰＲに技術を活かしたい。

共創コミュニケーションアンケート結果から採用した課題解決案

岐阜市のまちに対するイメージと直結する動画やＶＲ、プロジェクションマッピングを使って、岐阜市に思い入れをもって頂く。

課題解決案

プロジェクションマッピングを利用し、公共建造物を背景にぎふの魅力のＰＲを行う。岐阜市の特産や産業をイメージすることで、企業自体のＰＲと市民のまちに対する思い入れをもって頂くことにも繋げる。

https://youtu.be/LZVjpCp2tmk

閲覧者アンケートより

・ぎふの魅力を伝えられると思う
・綺麗な映像でぎふの魅力をこのような形で見られるのも良いと思った

コンテンツのまとめ

岐阜市共催を頂いている担当部署の方にも「みんなの森ぎふメディアコスモス」への地域特産の投影というところで、建物の雰囲気にマッチしている、まちの魅力を感じられるなど、非常に良かったというご意見を頂きました。本コンテンツでは動画やＶＲを活用し、身近な公共建築物と地域特産との掛け合わせをしました。企業との連携で、まちの誇りの発信や、より地域へ愛着をもつことへ繋げることができます。

コンテンツ詳細 ③

岐阜ウォールアートＰＲ動画作成

企画参加者募集（それぞれの目標の調査）

【ＮＰＯ法人歴史文化建築物等保存会・トラスト岐阜】
長期に渡り放置されている商店街の一角を歴史的建造物と保存も含め有効活用したい。

✖

【株式会社ｇｕｐｓ】
ぎふのまちの魅力を発信する仕事に繋げたい。

共通する目標

岐阜駅前商店街に人々を惹きつける新たな名所を創り上げる必要がある。

共創コミュニケーションアンケート結果から採用した課題解決案

岐阜駅北の古い建造物に大きな絵を書いて、一つの名所を作成して、商用スペースを拡張することで、まちに賑わいを生み、経済循環を促進させる。

課題解決案

ぎふのまちの人々が岐阜市問屋町２丁目地内（ＪＲ岐阜駅北地区）の鉄筋コンクリート造４階建てを利用して、現代アートのリノベーション計画を行う。その足掛かりとして今年建物の一部をデモ版として実際にアーティストを招いて絵を描き、その過程を動画に収め、ぎふのまちの人々に配信する。

https://youtu.be/IsMpvp5rx4A

閲覧者アンケートより

・注目を引くロケーションは人が集まる一つのポイントなので、一帯がアートで埋まれば岐阜駅からの新しい名所になると思う
・岐阜の玄関口である繊維街の閑散とした雰囲気に新たな発想で人を呼び寄せる価値を生み出したことに感動した

コンテンツのまとめ

玄関口である岐阜駅が元気になることで、そこからひとが流れ、ぎふ全体が元気になります。ウォールアートを描く中で、多くのひとが関わりました。完成作品を見に来るひとの賑わいだけでなく、作成過程で多くのひとが関わる事業となり、企画立案された方も期待を寄せております。岐阜駅に新たな名所を創れば、ひとが集まり、産業が生まれ、賑やかになります。その賑やかさに惹かれ、さらにひとが集まり、産業が栄える、という好循環が生まれます。

コンテンツ詳細 ④

協働災害支援ネットワーク

企画参加者募集（それぞれの目標の調査）

【ＮＰＯ法人コミュニティサポートスクエア】
災害ボランティア等の災害支援活動を企業に協力して頂くことでより強力なものにしたい。

✖

【企業】
災害時でも、自社の企業活動を止めることなく継続して行いたい。

共通する目標

企業からの物資や技術の支援が入り災害支援に慣れたＮＰＯが現地に行き活動することで、より支援の可能性が広がる。それを実現するためにも企業との各種団体の災害支援ネットワークの構築をする必要がある。

共創コミュニケーションアンケート結果から採用した課題解決案

企業からの物資や技術の支援が入り、災害支援に慣れたＮＰＯが現地に行き活動できる災害支援ネットワークを構築することで、持続可能な企業活動が実現できる。

課題解決案

災害時において災害地への企業からのサポートを行う仕組み・ネットワークを構築するために、ＮＰＯ法人と企業で調査研究を行う。

https://youtu.be/UjWGRkDxNTY

閲覧者アンケートより

・自身のまちでも災害時などへの対応に活かすことができる取り組みだと思った
・災害時の無駄のない支援になると思う

コンテンツのまとめ

調査では、普段の業務の中で取り扱っている物資が防災に役立つということを再認識する機会にもなりました。そのような企業と上手く連携をとっていくことも重要です。また、企業間でも普段から連携を図り情報を共有しておくことで災害時や非常時において、自社だけではできなかったことも他社と協力することで様々な対応が可能になると考えられる結果を得ることができました。災害などの緊急時において今回の企画のような情報共有を行っておくことで、迅速でより強力な対応が可能になり災害時でも経済や社会活動が持続できると考えます。

コンテンツ詳細 ⑤

協働型女性活躍支援

企画参加者募集（それぞれの目標の調査）

【ＮＰＯ法人こどもトリニティネット】 子育てママ世代が活躍できる場を広げたい。	✖	【リンエイ株式会社】 差別化商品の開発を行っていきたい。今後も継続して人材確保していきたい。

共通する目標

企業とママを繋ぐ架け橋となり、女性の働く環境を支援する存在が必要である。

共創コミュニケーションアンケート結果から採用した課題解決案

企業とママを繋ぐ架け橋となり、女性の働く環境を支援する存在を作ることで、女性の社会進出を促進させる。

課題解決案

企業が抱えている「商品開発の幅を広げる」、「定期的な情報発信」という課題に対して、子育てＮＰＯ法人と協力して解決する。

https://youtu.be/G8BZOG8_U9A

閲覧者アンケートより

- 主婦の気づきから、何か新しい商品を岐阜から発信していけたら、素敵だなと思いました
- もっと女性が輝いていけば、ぎふのまちが活気づくと思います

コンテンツのまとめ

デザインの得意なママが、ママ目線で欲しくなるようなヘルメットの共同制作を企業と行いました。色の再現などに苦戦しながら実際に製作を進める中で、女性の新しい働き方を広めることに繋がり、やりがいと働きがいを感じることができました。ＳＮＳ投稿内容も文章をすっきりさせるなどユーザー視点の内容となり効果的な発信ができました。参加したリンエイ株式会社も地域の方の意見や実際に使う方の意見が反映された商品開発ができたということで次の企画にも繋げることができました。

コンテンツ詳細 ⑥

地域の電子かわら版デモ作成

企画参加者募集（それぞれの目標の調査）

【まちづくり協議会】 自治会活動の発展や維持していきたい。	✖	【ヨツハシ株式会社】 印刷業のノウハウを他の分野にも活かしたい。

共通する目標

自治会の発展や災害時の市民の行動に役立つものとしてこれまでのまちの広報印刷物を行っている企業のノウハウを活かしてＷｅｂでも情報が取得できる状況を創出する必要がある。

共創コミュニケーションアンケート結果から採用した課題解決案

自治会の発展や災害時の市民の行動に役立つ情報を回覧板ではなくＷｅｂで見られるようにして、地域住民の連携を強める。

課題解決案

ホームページを作成して、従来回覧板で回していた、自治会の発展や災害時の市民の行動に役立つ情報を記載する。自治体、デモ作成企業とともに内容を打合せ、デモ版（ホームページ）を作成する。

https://youtu.be/dicn8C7ggNg

閲覧者アンケートより

- 自治会でホームページの運用まで行える人員がいないのが現状なので有効活用できると思った
- 何気なく読んでいた回覧板ですが、コロナ禍で安全かを思うところもありＷｅｂの有効性を感じました

コンテンツのまとめ

広報誌にはＷｅｂにはないメリットもありますが、多くの方に情報が届きやすいツールとして、電子かわら版は一つの有効な手段となります。今回の企業と地域との協力した取り組みから、今後若年層の方にもまちづくりに興味をもってもらい、新たな担い手として参画して頂き地域住民の繋がりをより強固なものとして住みやすいまちを形成していくことができると考えます。

コンテンツ詳細 ⑦

災害にも強いまちづくりポータルサイト作成・運営

企画参加者募集（それぞれの目標の調査）

【ＮＰＯ法人 ぎふＮＰＯセンター】
災害時の活動に対して岐阜市や企業、各種団体との連携を強化したい。

✖

【株式会社山田建築事務所】
災害時でも、自社の企業活動を止めることなく継続して行いたい。

共通する目標

日頃からの地域やＮＰＯ、企業との繋がりによるまちづくり、地域づくりといった日常の関係づくりが必要である。

共創コミュニケーションアンケート結果から採用した課題解決案

企業からの物資や技術の支援が入り、災害支援に慣れたＮＰＯが現地に行き活動できる災害支援ネットワークを構築することで、持続可能な企業活動が実現できる。

課題解決案

ポータルサイト岐阜圏域版の今後の作成にあたり、地域、ＮＰＯ、企業等で共有、仮運用することで、ブラッシュアップをはかりプラットフォームとしての機能を充実させる。

https://youtu.be/vLetfMFHbqM

閲覧者アンケートより

・どの地域にも風土に関係した災害の不安を抱えているのでいざという時のためにも普段からの関わりが大切だと思った

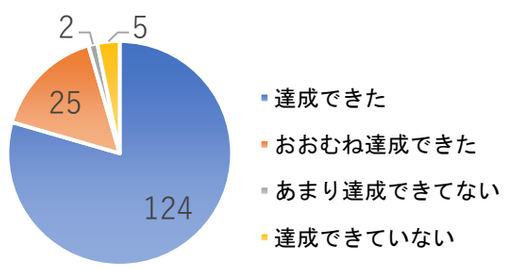
コンテンツのまとめ

今回、企業と団体が協力して災害支援を行うことの社会実験として建築事務所とＮＰＯとドローンを飛ばし災害時への活用について検討を行いました。今後、地域、企業、ＮＰＯや行政災害支援担当部署へのヒアリングを行い、ポータルサイトしてのコンテンツを検討しながら構築していきます。災害にも活かせる顔の見える関係を構築する活動を行い、その事例や情報を発信することで、災害にも強い地域づくりを進めます。災害時でも経済や社会活動を持続させ、安心して生活を送るには、日常より顔の見える関係をつくり活動を進めることが大事だと考えます。

事業実施結果の評価について（アンケート結果）

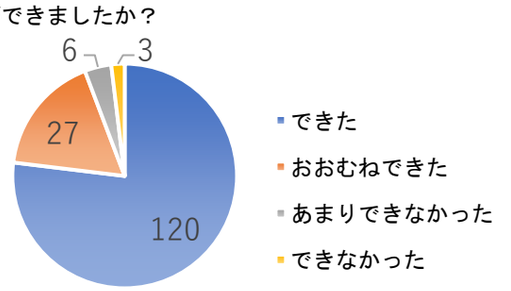
【サイト内アンケート（１５６人）より】

異なる立場の人たちと共に課題を解決する大切さを感じて頂くと共に、本事業の課題解決案や課題解決を導く方法が、ぎふのまちの未来に繋がる期待をもって頂ければと思い、当事業を開催致しましたが、達成できたと思いますか？

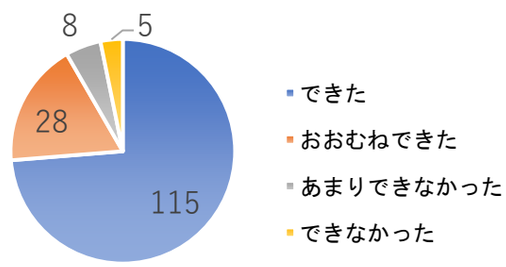


今回の事業を継続的に実施したほうがいいと思いますか？

各コンテンツでは企業、各種団体、市民それぞれの立場の人たちと共に課題を解決するための解決案を作成し、各デモンストレーションを行った結果を掲載しました。この結果を見て、異なる立場の人たちと共に課題を解決する大切さを実感することができましたか？



各コンテンツをご覧頂き、自身の活動やぎふのまちの課題解決に活かせると感じましたか？



【ホームページ閲覧者の声】

●自分の普段生活していることが、商品開発に生かされて、実際に商品になるのは凄いと思います。
主婦の気付きから、何か新しい商品を岐阜から発信して行けたら、素敵だなと思いました。
●できないことはあきらめることが多いですが、できる人と協力することでできないことはなくなるということを感じることができました。
●この事業が市民に浸透すれば、課題解決に活かせる繋がりができるかもしれないと思いました。どう浸透させるか、市民に広がっていくのかが課題と思います。

【企画参加者の声】

●ＮＰＯと企業の連携ということは地域にメリットがあることであり、それが企業の経済活動にも実は好影響を及ぼすことに気づいた企業人もいたと思います。
●まちづくり協議会、自治会連合会のホームページ開設について検討していたところでもあり、今回の事業に参加させて頂くことでイメージをより深めることができた。今後、さらにＳＮＳの利用にも繋げていけると良いと思いました。
●参加して思いましたが、他の団体と協力することで新しい可能性が芽生えるのを感じました。
●今後も、自社の技術やノウハウを活かしながら地域のお役に立てば良いと思いました。

まちのＷＥＢ博　岐阜２０２０事業実施の考察

本年度の事業は、地域課題を企業・各種団体と各々の強みを活かして解決していくことができる可能性を知って頂くために取り組んでまいりました。ホームページを閲覧頂いた方には、企業と地域との協働事例から課題解決への期待をもって頂くことや、まちの持続発展の観点からも、企業が参画したまちづくりへの期待も感じて頂くことができました。クリエイターや若い世代がまちづくりの参画に取り組むきっかけになりそうだという声もあり、本事業の課題解決方法からぎふのまちの未来への期待をもって頂けたと考えます。地域課題の解決へ繋がる可能性を感じて頂けましたが、もっとより多くの組織や団体を巻き込む必要があるという声もあり、活動をどのように拡げていくかという今後の課題も考えられます。

また、事業に参加頂いた方からは、今回の事業から今後の活動のヒントを得ることができたなどの意見を頂き、今後のまちづくりの意欲をもって頂くことに繋げることができました。

（公社）岐阜青年会議所　２０１３年からの「協働」に対する取り組み

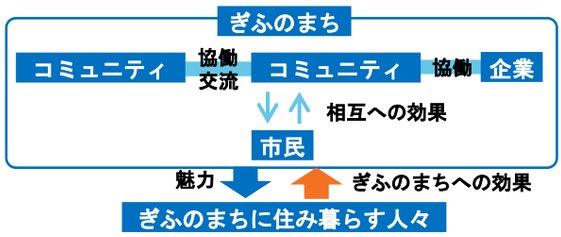
まちのビジョン：２０１２年策定～２０２０年

自然と産業とコミュニティの
共生都市ぎふ
～世界に誇れるひとの和～

まちのひとの魅力と、外から来た多様な人びとの価値観をも受け入れる包容力に惹かれ、
「あのまちなら、自分の夢が叶うかもしれない」
「あのまちなら、自分の生き甲斐がみつかるかもしれない」
そのような思いを持ったひとが日本や世界から称賛を浴びるひとの和のあるまち。そんな誇りに思えるぎふのまちを目指し岐阜青年会議所は活動してきました。

運動方針　“協働と自立の循環”の創造

まちのビジョンを実現する為に、地域コミュニティ、各種団体、企業、行政が、互いの強みを生かし地域の課題解決に向け協働する中で、地域コミュニティ、企業と各種団体が一層自立し、行政の力を得て更に大きな協働の和へと続く循環が生まれる。それにより“世界に誇れるひとの和”がつくり出され、“自然と産業とコミュニティの共生都市ぎふ”が実現することを運動方針　“協働と自立の循環の創造”と定めました。



２０１３年より、ぎふのまちの活性化に繋げるために、地域課題の解決に取り組むコミュニティと異なる強みをもつ企業との協働に着目し、協働の仕組みの創出を図ってきました。
協働することで相乗効果が生まれ企業とコミュニティが手を取り合い、社会貢献に繋がる取り組みを拡げていくことで双方にとってのメリットも生み出され、まちの発展に繋げることができます。

まちの人々が主体的に関わる協働型事業の仕組み

事業の流れ

1 テーマ設定 アイデア創出
テーマ設定や アイデアの創出

2 アイデアの具現化
アイデアの具現化や 事業コンテンツの創出

3 事業実施

参画 ← 市　民

参画・アドバイス ← 専 門 家
・企業
・各種団体
・ＮＰＯ　など

1 テーマ設定・アイデア創出　事業構築のためのテーマ設定やアイデアの創出

アイデア創出の方法：グループワークや市民調査（聞き取り調査やアンケートなど）

テーマ例

・ぎふのまちの資産　・国際交流
・まち固有の魅力　・ライフスタイル
・発想力　・ＳＤＧｓ　など

聞き取りによる市民調査の様子

実施例

２０１７年度アイデア創出のグループワーク：
信長アイデアソン
～みんなのアイデアがまちを創る～

日　時：２０１７年３月１１日（土）
場　所：岐阜市立岐阜中央中学校体育館
参加者：市民９４名（専門家７０名含む）

様々な知識や経験をもつ専門家の方々とぎふのまちの人々が一堂に会し、「まちの既存の魅力をもとに、どのようなことをしたら、ぎふのまちに賑わいをもたらすことができるか」をテーマとしてアイデアソンを行いました。
参加頂いた市民には多様な経験・専門性を有する人々と議論する中で、自分一人では考えつかない革新的なアイデアが生まれることを知って頂くことができました。

2 アイデアの具現化　アイデアを具現化するための市民、企業やＮＰＯなど専門家を交えた会議の開催

実施例

２０１８年度アイデア具現化会議：
＃未来創造スタジオ
４月から８月まで計５回の開催
参加者：市民４１名

アイデア創出会議からのアイデアをもとに、それぞれの趣味趣向を掛け合わせ、まちづくりに繋がるコンテンツへと具現化する会議を開催しました。
参加者には自身の趣味趣向からアイデアを考え、コンテンツを創り上げる過程を通じて、まちづくりの楽しさを感じて頂くことができました。

3 事業実施　コミュニティ、各種団体、企業、市民が主体的に活動する事業の実施

実施例

２０１９年度まちづくり事業：
ＧｉｉｉｉＦＵ　ＩＭＰＡＣＴ！
～まちの新たな魅力を五感で楽しむ夏～

日　時：２０１９年８月１０日（土）
場　所：ＪＲ岐阜駅北口駅前
参加者：市民４５名

市民で構成されたメンバーと岐阜青年会議所メンバーとで発想力を活かしたぎふのまちの新たな魅力のコンテンツを創り上げ発信しました。
来場者の五感に驚きや面白みなどのインパクトを与え、発想力によるまちづくりに期待感をもって頂くことができました。
【来場者数：９，１０６名】

２０１３年から２０２０年までのまちづくり活動の総括

２０１２年に策定されたまちづくり運動ビジョンから、２０２０年まで各年ごとにテーマや切り口を変え、地域コミュニティ、各種団体、企業、市民、行政との協働を生み出し、ぎふのまちへ賑わいの創出に繋げてきました。各年のまちづくり事業においては、参加頂いた団体によって新たな協働に繋がるきっかけが生まれる事例もありました。これは、地域コミュニティ、各種団体、企業がまちづくりに対して自立した活動を行うことによる新たな協働を生みだしていった結果といえます。

テーマや切り口を変え、企業や各種団体など、それぞれを結びつけることで今までにはない協働を生み出すことができます。そして、地域コミュニティ、各種団体、企業、それぞれが自ら協働に取り組むことで今後も更なるぎふまちの発展に繋げることができます。

まちのＷＥＢ博　岐阜２０２０　協力団体・企業一覧（順不同）

共　　催　　岐阜市

参加団体　　ぎふＮＰＯセンター／ＮＰＯ法人コミュニティサポートスクエア／ＮＰＯ法人トリニティネット／ＮＰＯ法人歴史文化建造物保存会・トラスト岐阜／リンエイ株式会社／ヨツハシ株式会社／株式会社ｇｕｐｓ／株式会社デンキトンボ／株式会社エムズミッション／東海移動販売車組合／則武まちづくり協議会／株式会社山田建築事務所

協力団体　　達目洞自然の会／ＮＰＯ法人サイエンスものづくり塾エジソンの会／株式会社ドゥメンテックス／ヒラタ産業株式会社／株式会社十六銀行／岐阜信用金庫／株式会社みらい／株式会社岐阜フットボールクラブ／国立大学法人岐阜大学 地域科学部 教授　富樫幸一氏

まとめ

私たちは、本年度の事業構築にあたり、誰もが幸せに暮らしていける持続可能なまちを実現するためには、それぞれの方向を目指し活動している企業や各種団体を同じ目標で繋げ、市民を巻き込みながら地域課題を解決していく環境を創る必要があると考えました。そのためには企業の主体的なまちづくり活動を促進させると同時に、企業、各種団体、市民の誰もが普段から関わりのあるぎふのまちの様々な地域特性を活用することで、主体的にまちの未来を描き、行動できる市民の数を増やすことが重要だと考え、当事業に至りました。

当事業に参加した方々には、企業、各種団体、市民それぞれの立場の人たちと共に課題を解決する大切さを感じて頂くと共に、本事業の手法がぎふのまちの未来に繋がることを感じて頂き、今後のまちづくり活動の意欲に繋げることができました。またホームページ閲覧者には、異なる立場の人たちと共に課題を解決する大切さを感じて頂くと共に、本事業の課題解決案や課題解決を導く方法が、ぎふのまちの未来に繋がる期待をもって頂くことができました。

本事業の結果として、まちに住み暮らす人々がそれぞれの強みを活かしながら、各種団体、企業、市民、行政が協働を図っていくことで地域課題の解決へと繋がり、誰もが幸せに暮らしていける持続可能なまちが実現できることが示せたと考えます。

最後に、各種団体、企業、行政の皆様のご協力のもと、まちのＷＥＢ博覧会が開催できましたことに、感謝申し上げます。

公益社団法人岐阜青年会議所　希望溢れるまち共創委員会　委員長　栗本　聖士

発　　行　　公益社団法人岐阜青年会議所　２０２０年度　希望溢れるまち共創委員会

副理事長　四ツ橋憲彦

室　　長　八代宗太郎

編集責任者　委員長　栗本　聖士

副委員長　臼井伸一郎　桐部　遥奈　山下　真史　山田　純也

委　　員　相宮　啓司　加藤　幹大　國井　常晃　栗山　健弘

小出　修也　佐々木　孝　島部　貴文　高野　祥平

髙橋　勇樹　堤　洋介　永瀬　洋平　藤田　照之

堀　義崇　村瀬　功　正村　文乃　矢田　貴士

JCI Junior Chamber International Gifu

公益社団法人 岐阜青年会議所